

令和元年度宍粟市子ども・子育て支援事業計画の実施状況について

■教育・保育ニーズ

(令和元年12月末現在)

事業名	R1年度計画	R1年度実績	R1年度の実施状況				R1年度の実施状況
	量の見込み (A)	利用定員 (B)	園所児童数		利用希望者 (D)	(D)-(C)	
			4月1日	12月31日(C)			
教育(1号)3歳児 (幼稚園、認定こども園)	270人	260人	41人	39人	39人	0人	公立幼稚園8園／177人 公立認定こども園2園／14人 私立認定こども園2園／26人 上記のほか、市外の私立認定こども園1園／2人
教育(1号)4-5歳児 (幼稚園、認定こども園)			185人	180人	180人	0人	
合 計	270人	260人	226人	219人	219人	0人	
保育(3号)0歳児 (保育所、認定こども園)	75人	75人	34人	83人	85人	2人	
保育(3号)1-2歳児 (保育所、認定こども園)	269人	315人	281人	298人	300人	2人	
保育(2号)3-5歳児 (保育所、認定こども園)	512人	545人	517人	529人	529人	0人	
合 計	856人	935人	832人	910人	914人	4人	

令和元年度宍粟市子ども・子育て支援事業計画の実施状況について

■地域子ども・子育て支援事業

(令和元年12月末現在)

事業名	R1年度計画	R1年度実績		計画との差 (B)-(A)	R1年度の実施状況
	量の見込み(A)	提供量(B)	利用希望者数		
①利用者支援事業 ＜保健福祉課＞	2か所	2か所	—	0か所	利用者支援事業の基本型と母子保健型の2類型を開設し、妊娠期から子育て期(主に就学前)までの期間を母子保健等と連携を取りながら、包括的に切れ目のない支援を行った。基本型は子育て専門員により子育てに関する相談や子育て情報の提供等を、母子保健型は母子保健コーディネーター(保健師)により特に支援の必要な母子へ関係機関と連携をしながら支援の調整を行った。
②時間外保育事業(延長保育事業) ＜こども未来課＞	100人	108人	108人	8人	私立認可保育所7所・認定こども園1園 実利用人数108人(延べ3,593日)
③放課後児童健全育成事業(学童保育所) ＜こども未来課＞	338人	324人	324人	△ 14人	公立学童保育所11所279人(定員420人) 私立くりのみ学童クラブ(市委託)45人(定員57人)
④子育て短期支援事業 ＜保健福祉課＞	0人	0人	0人	0人	養育者の疾病等により自宅での養育が困難な状況となった時に児童養護施設等に一時的に短期間、宿泊によるサービスを提供するため、近隣市町にある児童養護施設数か所と委託契約を締結している。令和元年度は利用希望なく、利用実績はない。
⑤乳幼児家庭全戸訪問事業 ＜保健福祉課＞	199人	145人	145人	△ 54人	保健師による乳児健診までの家庭訪問(新生児訪問)を全乳児対象に実施している。里帰りをしている乳児には里帰り先の母子保健担当者へ連絡し全国どこでも訪問が実施できる体制が取れている。必要に応じて再訪問も実施している。出生数の減少により、計画より実績が減少した。
⑥養育支援訪問事業 ＜保健福祉課＞	0人	0人	0人	0人	養育支援が必要な家庭への保健師やヘルパーによる訪問指導支援である。母子保健事業として必要な家庭には保健師が訪問し相談や指導を実施しているが、養育支援訪問としての利用希望や利用実績はない。

令和元年度宍粟市子ども・子育て支援事業計画の実施状況について

■ 地域子ども・子育て支援事業

(令和元年12月末現在)

事業名	R1年度計画	R1年度実績		計画との差 (B)-(A)	R1年度の実施状況
	量の見込み(A)	提供量(B)	利用希望者数		
⑦地域子育て支援拠点事業 (月当たり延べ数) ＜保健福祉課＞	438人	391人	391人	△ 47人	子育て中の親子が気軽に集い、交流や子育ての不安、悩みを相談できる場所として、市内4か所に子育て支援センターを開設している。出生数の減少や認定こども園の開設等により利用実績が減少傾向にある。
⑧一時預かり事業 (幼稚園在園児対象) ＜こども未来課＞	15,893人	8,158人	8,158人	△ 7,735人	公立幼稚園3園・公立認定こども園2園・私立認定こども園2園 実利用人数83人(延べ8,158日)
⑧一時預かり事業 (幼稚園在園児以外) ＜こども未来課＞	1,864人	865人	865人	△ 999人	私立認可保育所4所・公立認定こども園2園・私立認定こども園2園 実利用人数53人(延べ865日)
⑨病児・病後児保育事業 ＜社会福祉課＞	996人	7人	7人	△ 989人	令和元年10月に、公立による宍粟市病児保育室『そらまめ』(1ヵ所)を開設したが、利用者は低調なものであり、現在周知方法等の工夫を行っている。
⑩ファミリーサポートセンター事業 (就学児のみ) ＜社会福祉課＞	550人	261人	261人	△ 289人	小学校併設の学童保育が拡充されたため、昨年より実績は減少している。現在は就学児については、習い事など主に送迎の利用を希望される方が7割以上を占めている。
⑪妊婦健康診査事業(延べ数) ＜保健福祉課＞	2,376人	1,649人	1,649人	△ 727人	母子健康手帳交付時に14回93,000円分の妊婦健診助成券を交付しており、兵庫県内の産婦人科での妊婦健康診査に関してはほぼ自己負担なしに受診ができており、経済的理由で妊婦健診を受けないという状況を防いでいる。県外の医療機関を利用されるなど自費で受診された場合は償還払いの対応を取っている。少子化により利用実績は減少傾向にある。